

このたびはパナソニック製品をご採用頂き、まことにありがとうございます。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■電気配線工事は、必ず電気工事店様にご依頼ください。

■同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しください。

施工説明書

ポール取付用部材

品番：XCT667K

(ポール CT067K / 受皿 CT67K)

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

●仕様変更・改造は絶対にしない

けがの発生や事故のおそれがあります。

変更、改造、分解された場合は商品の保証は致しかねます。



必ず守る

●商品の施工は、施工説明書にしたがい

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●アースを確実に接地する
(D種接地工事)

感電のおそれがあります。



注意



禁止

●通行の妨げになる
場所へ設置しない

けがの原因となります。

●商品へぶら下らない
けが、故障の原因となり
ます。

●ホースによる直接の
水洗いはしない

故障の原因となります。



必ず守る

●ポール下部の水抜き穴はふさがらない

ポール内部に雨水・結露水がたまり、漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

●施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する

ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。

●部材が重量物の場合、運搬、取付作業は2人以上で行う

けがのおそれがあります。

施工上のご注意

●梱包は、支柱と受皿が別々になっていますのでご注意ください。

●本ポールは、サインポストの照明と押ボタン（またはインターフォン）を両方使用し、ポール付け施工する場合にもお使いください。

●チャイム、ブザーなどは必ず24V以下（押ボタン回路）のものを使用してください。

●支柱、受皿とも塩酸などの酸類で洗わないでください。さびの原因となります。

●洪水、台風、豪積雪、地震などの天災による倒壊や施工不備による不都合については責任を負いかねます。

同梱部材

 受皿 (1個)	 ナット (4個)	 ボルト M4×10 (7本)	 支柱 (φ60.5) (1個)
	 板ワッシャ (8個)	 ボルト M4×18 (4本) ※ユニサスの場合	 まわり止め棒 (1個)

施工手順

単位：mm

ご注意

ポールには前後方向があります。
ポールを埋込む前に、確認してください。

1 ポールに受皿を固定する

付属のボルト3本 (M4×10) で固定してください。

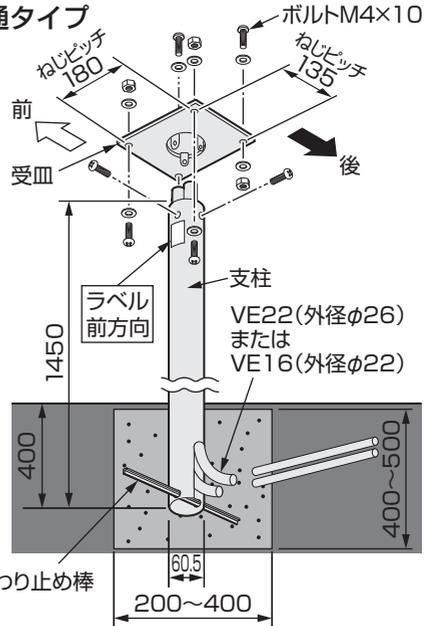
2 ポールを土中に固定する

- 決められた寸法の穴を掘ってください。
- あらかじめポール内に塩ビ電線管2本 (VE22またはVE16) を入れておいてください。
- 電線管下端には、右図のようにノーマルベントを接続しておいてください。(電線管は同梱していません)
- ポール固定深さは400mmになります。
- コンクリートにて穴を埋め戻し、固定してください。

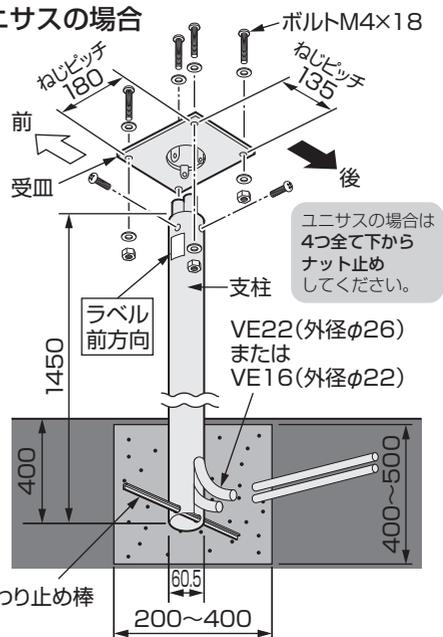
3 受皿にサインポストを取り付ける

- 前部はM4×10のねじ2本で、ねじを下から上へ入れます。
- 後部はM4×10のねじ2本でねじを商品内部から下へ出して固定してください。
- ユニサスの場合はM4×18のねじを使用し、4つ全て下からナット止めてください。

共通タイプ



ユニサスの場合



施工後のご注意

■施工後は中性洗剤や石鹼水をスポンジや布に含ませ、ポスト表面をふき取ってください。
(工事完了までポストの養生をお願いします。)

■下記のような条件化においては受皿やポールにさびが発生することがあります。

- 鉄粉などによる異種金属が付着するような立地環境(工場地帯や鉄粉が舞う工場現場など)
- 排ガス内の有害物質が付着するような立地環境(工場地帯や交通量の多い市街地など)
- 塩分が付着するような立地環境(海岸地帯など)

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
外廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

214-EP067S

B0419-1042